

令和2年度 安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会 会議概要

- 1 会議名 令和2年度 第2回安曇野市地域公共交通会議兼地域公共交通協議会 総会
- 2 日時 令和3年2月17日(水) 午後1時30分から午後3時まで
- 3 場所 豊科交流学習センターきぼう 多目的交流ホール
- 4 出席者 宮澤 宗弘会長、小林 伸行委員(代理 唐澤 哲男氏)、
兵藤 裕一委員(代理 市村 孔明氏)、荻窪 孝委員、原田 篤志委員、
奥山 修司委員、藤松 兼次委員、増田 早苗委員、中村 豊江委員、
山崎 徳昭委員、高橋 秀生委員(代理 輿 智幸氏)、笠原 健市委員、
望月 熙史委員、二條 宏昭委員、小岩井 清志委員、耳塚 喜門委員、
戸田 忠徳委員(代理 上條 良民氏)、大内 清彦委員、渡辺 睦宏委員、
松井 道夫委員、金井 恒人委員、上條 芳敬委員、野本 岳洋委員、
鎌崎 孝善委員、坪田 浩昭委員、平林 洋一委員
事務局 野口政策経営課長、丸山交通政策係長、交通政策係主査中嶋
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 記者 1人
- 7 傍聴者 9人
- 8 会議録作成年月日 令和3年3月 日

協議事項等

◎会議次第

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
 - (1) 部会検討事項について
 - ①巡回バスの検討経過について
 - ②安曇野市地域公共交通網形成計画中間評価について
 - (2) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業計画案について
 - (3) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 予算案について
 - (4) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について
 - (5) 令和3年度 各路線運行計画について
 - ・安曇野市地域公共交通システム(あづみん・定時定路線)
 - ・あづみ野周遊バス
 - ・中房線
- 4 報告事項
 - (1) 交通事業者の名称変更について
 - (2) 定時定路線バス停留所の移設検討について
 - (3) その他路線運行計画について
 - ・信州まつもと空港シャトル便
- 5 そ の 他
- 6 閉 会

4 協議事項

(1) 部会検討事項 ①巡回バスの検討経過について

【事務局説明】・・・資料1

- ・市議会一般質問や市民意見によりバスの導入要望があったことから、研究を始めた。
- ・巡回バスの路線案3つ（部会提案第1案及び第2案、市民提案第3案）について、運行及び費用シミュレーションを行った。
- ・費用面では、新たに想定される市の負担額として、1案は初期費用が7,660万円、経常経費が約6,400万円/年、2案は初期費用が9,660万円、経常経費が約8,500万円/年、3案は初期費用が12,960万円、経常経費が約13,700万円/年となる。経常経費は想定される支出総額から運賃収入を差し引いた金額である。
- ・バスの導入を要望される市民団体の方には、部会へ2回参加いただき意見交換を行った。
- ・バス導入を要望される方の意見として、あづみんは急な予約が取りにくく休日運行がない、使いたいと思ったときにすぐ使える手軽さがない、停留所に行けば決まった時間に利用できる交通が欲しい、といった意見が出された。
- ・部会員の意見として、安曇野市は住宅が分散して立地しているため路線をどこに引くのが非常に難しい、多くの市民の利便性を同時に叶えるのは困難、バス停までの距離が遠い地域が多く特に高齢者にとっては移動が困難ではないか、交通空白地帯が生じてしまい費用対効果が見込めないのではないか、といった意見が出された。
- ・今後の検討スケジュールは、現在実施している巡回バスに関する聞き取り調査の結果を部会で確認し、5月に開催する次回総会にお諮りしたい。

《確認》

(1) 部会検討事項 ②安曇野市地域公共交通網形成計画中間評価について

【事務局説明】・・・資料2

- ・平成30年に策定した網形成計画だが、令和2年度に中間評価を行うこととなっている。
- ・計画に記載している20事業について中間年での評価を行った。全体としては取り組みが進んでいるが、実施内容を再考していくべき事業もある。
- ・数値でみる目標の達成度について、利用人数を目標に挙げているほとんどの項目は目標未達成という状況。これはコロナ禍に伴う外出控えが要因と考えられる。そうした中で、デマンド交通あづみんは、利用者は減少したものの堅調に推移しており、ニーズの高さがうかがえる。
- ・市民の移動需要、意識及び利用者の意向収集は、65歳以上の市民1,350人を対象としたアンケートによりデマンド交通あづみん及び免許返納について調査を行った。その結果、約8割の方が今後あづみんを利用したいと考えていること、あづみんの良い点として運賃の安さ及び自宅前での送迎を挙げる一方、予約の取りづらさや待ち時間が長いこと、1回の乗車範囲に制限があること、休日運行していないことが課題であることが明らかになった。
- ・定時定路線については、調査の結果、豊科高校及び南安曇農業高校の生徒には使い勝手がよくないこと、午後4時台の便の運行を要望する声が多いことが明らかになった。
- ・以上の評価結果を受け、計画後半期の重点検討事項として、デマンド交通あづみんの充実、既存定時定路線の充実、公的支出額目標の見直し、の3点を挙げた。

《承認》

(2) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 事業計画案について

【事務局説明】・・・資料3

- ・デマンド交通あづみん及び定時定路線の運行。引き続き、感染予防対策を講じた上で運行する。
- ・既存公共交通体系の検証と新たなサービス導入に向けた研究を行う。
- ・網形成計画推進事業として、定時定路線の一部路線の延長、増便を行う。
- ・公共交通サービスをより分かりやすく周知するパンフレットを作成する。また、JR のダイヤ改正に合わせ、定時定路線の時刻表を修正する。
- ・地域公共交通会議兼協議会総会を開催する。

《承認》

(3) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会 予算案について

【事務局説明】・・・資料4

- ・主に既存交通体系の運行に係る運行費。対前年7,941千円の増額。

《承認》

(4) 令和3年度 安曇野市地域公共交通協議会監事の選任について

【事務局説明】・・・資料5

- ・監事の選任。前年度同様、長野県松本地域振興局企画振興課長及び安曇野市商工会長を選任。

《承認》

(5) 令和3年度 各路線運行計画案について

○安曇野市地域公共交通システム(あづみん・定時定路線)

【事務局説明】・・・資料6

- ・運行はデマンド式乗り合い運行と定時定路線の2種類。
- ・デマンド運行については、市内全域を運行エリアとして利用者が希望する乗降場所で発着。市内を5つのエリアに分け、交替車両を含め全16台で運行。
- ・運行日は、土日祝日年末年始を除く平日とし、運行時間は午前8時便から午後4時便まで。
- ・運賃は中学生以上が300円、障がいをお持ちの方は100円、未就学児は無料。
- ・令和2年度は1月末時点の利用者数が63,016人、前年度同時期と比較して10,671人の減。
- ・定時定路線については、朝夕の通勤通学時間帯に運行。明科路線は帰宅時間帯に運行。
- ・運賃は大人200円、小中高生と障がいをお持ちの方は100円、未就学児は無料。
- ・定時定路線の時刻は、JRのダイヤ改正に合わせ運行時刻を変更する場合がある。

《承認》

○あづみ野周遊バス

【耳塚委員説明】・・・資料7

- ・令和3年は4月24日から11月3日まで72日間運行。

- ・東回りの大王わさび農場方面、西回りのちひろアルプス公園方面を運行。
- ・令和3年度より、アートヒルズ停留所及び松尾寺停留所を廃止する。
- ・JRのダイヤ改正に合わせ運行時刻を変更する場合がある。

《承認》

○中房線

【耳塚委員説明】・・・資料8

- ・令和3年は4月24日から運行。
- ・臨時便は、混雑が予想される日に宮城ゲートに誘導員が配置されるのに合わせて運行。

《承認》

5 報告事項

(1) 交通事業者の名称変更について

【事務局説明】・・・資料9

- ・運行事業者であるあづみの第一交通株式会社の名称が変更となった。

《確認》

(2) 定時定路線バス停留所の移設検討について

【事務局説明】・・・資料10

- ・定時定路線穂高駅明科駅路線の高橋節郎記念美術館口が、国土交通省の調査により交通安全上問題と思われるバス停に分類され公表されている。安全性確保のため、移設に向けた協議を行っている。

《確認》

(3) その他路線運行計画について 信州まつもと空港シャトル便

【小岩井委員説明】・・・資料11

- ・本路線はFDAのダイヤ改正に合わせて運行時刻を変更している。
- ・コロナの影響を受けたが、運営協議会としては広域観光の点から運行を継続したいと考えている。

《確認》

5 その他

【事務局説明】

- ・次年度も引き続き委員をお引き受けいただきたい。
- ・令和3年度の第1回総会は、5月下旬頃を予定している。